

待ちに待った給食

ソフト麺 塩昆布漬け

野菜いろいろ肉団子

とりうどんスープ

ほぼ日刊 夢の華

C^カa^ラr^ッa^ト+

第810号

神町中学校 夢色通信社

令和3年2月9日



避難しない避難訓練

2月4日(木)、神町中学校において世にも不思議な避難訓練が行われた。その名も「避難しない避難訓練」である。当日15時、各教室に生徒は着席にて待機。その後ワークシートが配られ、担任の先生から「今、地震が起これば、皆さんはどのように避難しますか。グラウンドには雪が積もっていて移動できません。また、第2理科室から

からは火災が発生しています。10年前の東日本大震災も、雪や厳しい寒さの中での避難となりました。自分だったらどう行動するか、考えてみましょう。」との問いかけのもと、避難経路や避難する時のポイントなどを図面上で確認した。安全委員長の高橋錦くん(2年)は「逃げる時は、冷静に頭を使って逃げるのが大切だと思った。また、あらかじめ確認しておくことで、スムーズに移動できることもわかった。」と今回の避難訓練を振り返ってくれた。1年生の菊地香子さんは「今まで、避難口や避難場所を放送で聞いて移動していたのであまり考えたことはなかったけど、先生がいない時もあるので、自分たちで考えて避難できるようにしたいです。」と、阿部悠大くんは「自分の部活動の活動場所が、避難口から1番遠くて驚きました。避難する場所が意外な所だったので、気をつけたいです。」と、廣田菜々美さんは「もしもの事を考えて、部活動の時、教室にいる時の逃げる場所を確認できた。冬に避難する時のポイントも知ることができたので、活用していきたい。」と話してくれた。

また、鈴木陽斗くん(2年)からは、避難訓練後に、「プレハブ校舎は地震に弱いと思うので、地震が来たら命の危険にさらされると思います。新しく校舎をつくってほしいです。」との要望が出された。この件について夢色通信社では内々に情報を集めた結果、新校舎増築については来年度(令和3年度)に調査・設計が行われ、再来年度(令和4年度)に着工、令和5年度に完成予定とのことであった。

安全主任の太田先生は、「冬の避難経路が変わること、部活動の時に被災した場合のシュミレーションができたことなど、みんなが初めて知ったことが多かった。自分だけでなく集団でパニックにならずに避難するためにはどうすればよいかという視点で感想を書いている人も多く、実りのある避難訓練になった。」と話してくれた。

1. 次の場所で地震にあったとき、どこに避難しますか。	
● プレハブ棟	南側 職員駐車場
本校舎	昇降口前広場
体育館	南側 職員駐車場
2. 冬に避難するときのポイントを確認しましょう。	
ポイント1	まずは 外の広い場所 に避難する
ポイント2	使用できない避難口を使わず、なだれ に注
ポイント3	火事が起きた場合、出火元 の方向には避難しない